

分野	人家等に対する地すべり対策・急傾斜地崩壊対策		事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等				
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	つつい 筒井		事業年度 (完了年度は見込み)	H25	年度～	H27	年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
						国庫	その他	県債	一般財源	
要	全体	重力式擁壁工 L=50m 崩壊土砂防止柵工 L=40m			80,000	38,000	4,000	34,200	3,800	
	H25年度	測量・調査・設計 1式			20,000	9,500	1,000	8,550	950	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	(30)	必要性	保全対象人家戸数	<input type="checkbox"/> 10戸以上	<input type="checkbox"/> 5～9戸	<input checked="" type="checkbox"/> 4戸未満	B	10	3	
		保全対象公共施設数	<input type="checkbox"/> 2箇所以上	<input type="checkbox"/> 1箇所	<input checked="" type="checkbox"/> なし	0				
		保全対象に援護者施設があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 重要施設あり	<input type="checkbox"/> 一般施設あり	<input type="checkbox"/> なし	10				
		保全対象に避難所、避難経路があるか	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		2				
		小計				15				
	(15)	重要性	過去の災害履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 過去10年に1回以上	<input type="checkbox"/> 災害履歴地	<input type="checkbox"/> なし	A	10		
		交通遮断による地域経済などへの影響	<input type="checkbox"/> 大	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	2				
		防災計画上の位置づけ	<input type="checkbox"/> 位置づけあり	<input checked="" type="checkbox"/> 位置づけなし		0				
	小計					12				
	(15)	効率性	費用対効果(B/C)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C3.0以上	<input type="checkbox"/> B/C1.0以上3.0未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	A	9		
		早期発現度	<input checked="" type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 5年～10年未満	<input type="checkbox"/> 10年以上	6				
		小計				15				
	(25)	緊急性	斜面の高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 30m以上	<input type="checkbox"/> 10m以上30m未満	<input type="checkbox"/> 5m以上10m未満	A	5		
		斜面平均勾配	<input type="checkbox"/> 45°以上	<input type="checkbox"/> 40°以上45°未満	<input checked="" type="checkbox"/> 30°以上40°未満	3				
		地質状況	<input checked="" type="checkbox"/> 崩積土、火山砕屑物、強風化岩	<input type="checkbox"/> 段丘堆積物	<input type="checkbox"/> 軟岩・その他	4				
		斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし		0				
		植生の状況	<input type="checkbox"/> 不良	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 良好	2				
		保全対象の位置	<input checked="" type="checkbox"/> がけ下にある	<input type="checkbox"/> がけ上にある		5				
		小計				19				
	(15)	計画	地元の協力	<input checked="" type="checkbox"/> 用地等の協力が得られる	<input type="checkbox"/> 用地等の協力が概ね得られる	<input type="checkbox"/> 協力が現時点では得られていない	A	8		
		熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> それほど高くない				7	
	小計						15			
	費用対効果(B/C)		3.87			評価の合計			A	76
	事業周環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	最大高さ95mのがけ下に保全対象である児童養護施設(災害時要援護者関連施設、24時間滞在型)があり重要施設として位置づけられている。また近隣には、24時間交代勤務を行っている気象庁精密地震観測室もある。現場は、急傾斜崩壊危険箇所内であり、かつ、土砂災害防止法の特別警戒区域内である。小崩落が起こる可能性が高く、法面には不安定な転石も見られるため、早急な対策が必要となっている。							
地域からの要望経緯		児童養護施設からは、土砂災害防止法の特別警戒区域に指定されていることから、早急な対策を要望されている。								
事業説明等の経緯		現地踏査結果を基に児童養護施設へ事業内容を説明。了解を得ている。								
環境・景観への配慮項目		待受擁壁工施工により、斜面にある既存の健全な立木を残すとともに改変面積を最小限度とし、環境及び景観に配慮する予定。								
他事業・プロジェクトとの関連		近接(山の反対側)にある保育園は土砂災害防止法の特別警戒区域内に指定されたため、平成23年度から社会資本整備総合交付金により対策中。								
特記事項	児童養護施設は事業に対しての関心が高いため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。(地域で避難訓練等の実施、維持管理の協力体制について検討中) H20年 土砂災害防止法指定。									
地域の合意形成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成		<input type="checkbox"/> 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明			
部意見	保全対象に災害時要援護者関連施設ある。この施設は重要施設であり収容者数も多いことから早急に対策を行う必要がある。				行政改革課意見	重要性、緊急性が認められる。				